



希望に満ちて

さいたま市立大門小学校

心豊かで たくましい
大門小児童の育成
< 夢と目標をもち、
生き生きと活動する子ども >



大門北交差点にある
交通事故犠牲者慰霊碑

たったひとつの命

校長 宮本 江津子

ようやく、涼しい風を感じるようになりました。夜には、虫の声も聞こえるようになり、すっかり秋めいてきました。校庭では、運動会の練習が盛んに行われ、隊形が決まり、これからさらに、華やかになっていくのだろう・・・と、私も楽しみに練習の様子を見ています。

昨日の校長講話朝会では、「明日も進むいのちの日」についてお話ししました。

『9月30日は、何の日か知っていますか？』

『明日も進む いのちの日』です。

2011年9月29日、さいたま市の小学校6年生・桐田明日香さんが、駅伝の練習中、1000mを走り終えて倒れ、翌日9月30日に亡くなってしまいました。その時AEDが使われていたら、助かっていたかもしれません。さいたま市では、再び明日香さんのような事故が起こらないようにするため、明日香さんの命日である9月30日を「明日も進むいのちの日」とし、「いのち」について立ち止まって考える日としました。そして、今、日本中に向けてこの取り組みは広まっています。みなさんは、①AEDってなあに？②AEDっていつ使うの？③大門小には、AEDはどこにあるの？ この3つについて覚えてください。

①心臓が動くのを助ける機械です。

②人が倒れていたら、使います。すぐに大人に知らせ、AEDをもっていきます。

③大門小には2つAEDがあります。

●1つは、職員玄関にあります。

●もう1つは、保健室の前の廊下の棚の上にあります。

この他に、さいたま市では中学1年生までに、AEDが使えるようになるため、5・6年生は、授業の中で、AEDの使い方について学びます。

大門小が「みんなをみんなで守れる学校」であり続けることを願っています。

5年前、ずっと一緒に暮らしていた私の父が、突然、亡くなりました。昨日まで、隣に座っていた父がいなくなってしまう、「人が亡くなる」ということは、「そこにいないってこと、呼んでも応えが返ってこないということ」を、この身をもって感じました。

未来ある子どもたちへ・・・たったひとつのかけがえのない命を、認め合い助け合い、大切にしていってほしいと、心から願っています。